

中学校道徳科学習指導案

- 1 主題名 家族の絆 内容項目【C 家族愛、家族生活の充実】
- 2 ねらい 家族の現状や関わり方についての考えを深め、家族の一員としてどのようなことができるのかについて、より良い家族のあり方を探ろうとする心情を育てる。

教材名 「一冊のノート」

(出典：新・中学生の道徳「明日への扉3年」学研教育みらい)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本時は、内容項目「家族愛、家庭生活の充実」に関するものである。中学生にとって、生まれてから現在までの間で一番身近な社会集団であるのが家族である。家族の存在があるからこそ、心身ともに成長することができたり、生活が豊かになったりしている。しかし、年齢を重ねるにつれて家族との関わり方や考えが変化していく。特に中学生の年代では、家族以外の交流も増えるなどして家族との時間が減少したり、思春期特有の家族に対する想いも生まれたりするところである。

指導にあたっては、父母や祖父母を敬愛する気持ちをより一層深めることが大切であることから、物忘れが激しくなった祖母に対する主人公の心の変化を通して、家族への想いや関わり方について考えさせることが必要である。また、もし自分が祖母の見守りや世話をしていくこととなったらどのようなことを考えて行動するのかについても、主人公の立場となって自分のことと捉えさせながら考え、家族の一員としての自覚をもって積極的に協力していこうとする態度を育てることが重要である。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について (省略)

(3) 教材の特質や活用方法について

主人公の「僕」の祖母は物忘れが激しくなっており、家庭生活において困った状況が続いていて、「僕」は弟とともに祖母を非難する日もある。ある日、学校からの帰り道に季節外れの格好をして買い物に出かける祖母に出会う。すれ違う時に何かを話しかけてきた祖母に対して「僕」は友達に気付かれないように知らん顔をして通り過ぎていく。帰宅後、「僕」は祖母に厳しい口調で話をする。その夜、父から祖母の記憶について説明を聞き、父の話に何も答えられなくなってしまふ。ある日、「僕」は、祖母のもどかしさや苦悩とともに家族との幸せな日々への感謝について書かれた祖母の日記を読んだが、日記はだんだんと読めない字で書かれていくよ

うになっていた。いたたまれなくなった「僕」は庭で草取りをしている祖母とともに草取りを始めた。

老いていく祖母へ強くあたってしまう主人公と祖母とのやりとりの中で、変化していく主人公の心を通して、これまでの成長や生活の中に大切な家族の存在があったことを理解させ、家族の一員としての役割を果たし、より良い家庭生活を送っていくことで家族の絆が深まっていくことについても考えさせたい。

<ヤングケアラーの扱いについて>

ヤングケアラーは、家族の見守りや世話をし支えようとする中で、子どもでありながら重い責任を負ってしまったり、話す相手がいなくストレスを抱えてしまったりする場合がある。

本時の授業を行うにあたっては、ヤングケアラーというものはどういうものなのかということ「ヤングケアラーってなに？中学生編」を用いて説明していく。もし自分がその立場になったとき、どのようなことを考え、どう行動するかということを考えられるようにする。

4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入 5分	1 家族とはどのような存在かのアンケートをもとに、現状をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも一緒にいる存在。 ・かけがえのないもの。 ・様々なこと言ってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にアンケートを実施して、家族について考えさせる。
展開 40分	2 教材「一冊のノート」を聞き、話し合う。 (1) 友達に気付かれないように、知らん顔をして通り過ぎた時、「僕」はどのような気持ちであったのだろうか。 (2) なぜ、「僕」はおばあちゃんと一緒に草取りを始めたのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしい。 ・家族と思われたくない。 ・おばあちゃんは一体何をしているのか。 ・おばあちゃんも苦しんでいるのがわかったから。 ・家族みんなで支えなければと思ったから。 ・僕ができることをやろうと感じたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの目を気にしている「僕」の心の部分を共感させる。 ・自分の老いに対して、苦しんでいるおばあちゃんに理解を示し、かわり方を改めようとする「僕」

	<p>(3) もし、自分がこのようなおばあちゃんの見守りや世話をしなければならぬとき、どのようなことを考えるか。</p> <p>*ヤングケアラーの説明 「ヤングケアラーってなに？中学生編」を用いて、ヤングケアラーについて説明する。</p> <p>(4) 家族との関わり方について振り返ったとき、自分で考えたことや課題だと思ったことについて考える。</p> <p>3 「より良い家庭生活を送るために必要なことは何か」を振り返りシートに記入し、自己を見つめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族なので支えてあげたい。 ・今まで育ててもらった分を返さなければ。 ・何ができるのか分からない。 ・自分ができるか不安。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員として、できることをやっていきたい。 ・家族の大切さやありがたさを感じて生活していきたい。 ・つい家族に対して嫌なことを言ってしまう。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの生活を振り返り、家族の中での自分の役割を認識し、家族のためという思いをもつことが必要。 	<p>の心の変化をとらえさせる。</p> <p>☆家族との関わりや家庭生活の大切さについて考えを深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の立場に立ち、自分のこととしてとらえて考えさせる。 ・ヤングケアラーという立場にある人がいること、そういった人々の考えや悩みがあることを理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・書く活動を通して自己を見つめさせる。 <p>☆家族の一員としての必要なことはどのようなことかについて考えている。</p>
<p>終末5分</p>	<p>4 教師の説話</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・家族の大切さについて改めて考えることを示す。

5 他の教育活動との関連（省略）

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・家族の一員としての役割や、より良い家族のあり方について様々な立場から話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・家族との関わりや家庭生活の大切さについて考えを深めている。

7 板書計画

<p>一冊のノート</p> <p>◎よりよい家庭生活を送るために必要なことはなにか考えよう</p>	<p>「僕」の祖母は物忘れが激しく、困った状況が続いている。そんな時、「僕」は弟とともに祖母を非難することもある</p>	<p>おばあちゃんと一緒に草取りを始め…</p> <ul style="list-style-type: none">・おばあちゃんも苦しんでいる。・家族みんなで支えなければ。・僕ができることをやろう。 <p>友達に気付かれぬように、知らん顔時、「僕」は…</p> <ul style="list-style-type: none">・恥ずかしい。・家族と思われたくない。・一体何をしていけるの？	<p>○もし、自分がこのようなおばあちゃんの見守りや世話をしなければならぬとき…</p> <ul style="list-style-type: none">・家族なので支えてあげたい。・育ててもらった分を返さなければ。・何ができるのか分からない。・自分ができるか不安。 <p>○家族との関わり方について…</p> <ul style="list-style-type: none">・家族の一員として、できることをやっていきたい。・家族の大切さやありがたさを感じた。・家族に対して嫌なことを言ってしまう。
---	--	--	--